

smile GENnavi 2018 Autumn

※記載の内容は変更になる場合があります。



【鹿児島店】鹿児島市西田2-15-12 (1F)
 【南さつま店】南さつま市加世田東本町18-9

「あたりまえの家」をあなたに

ムリナク イイホーム →ホームページへは、QRコードを読み取ってください
 ☎ 0120-679-146



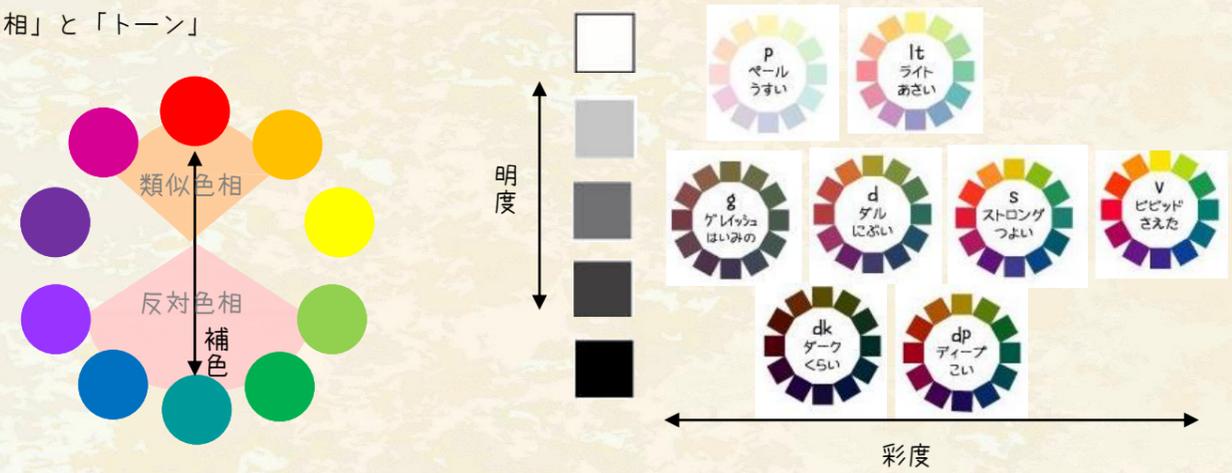
http://www.smilegen.jp



色はとても大事！～インテリアカラーのポイント～

引越しや模様替えで家具やカーテンをそろえていると、「イメージと違う…」「なんだかバラバラ…」と思うことはありませんか？その統一感の無さは、配色を間違えたことが一因にあるかもしれません。インテリアのカラーコーディネートにもルールがあり、組み合わせや部屋の目的に合わせた色の使い方を知っておくと理想的な空間を演出することができます。今回は、配色テクニックをご紹介します。

■「色相」と「トーン」



「色相」とは、赤、黄、青の色味のことをさし、この三色の中間色を加え黒や白、グレーが混ざらない「純色」に近い色順に並べたものを色相環といいます。

トーンとは、色の調子のことを言います。同じ色でも、色の明るさによって「明るい」「暗い」「あざやか」など印象が変わってきます。色相はトーンによって見え方はもちろん、感じ方、イメージが変わってきます。

色相・トーンの基本を押さえることは、自分好みの部屋づくりに近づく第一歩です。組み合わせパターンを覚えるだけで洗練された空間へ仕上がります！

■類似色の組み合わせ

緑と黄緑色、赤とオレンジなどの類似色の組み合わせは、無難で失敗がなく、なじみやすくなります。ポイントは、濃い方の色をクッションや椅子に使うなど使用面積に差をつけることです！



■反対色相の組み合わせ

黄色と青紫、オレンジと青など、色相側で反対にある色相を組み合わせると、鮮やかなコントラストが生まれ、リズム感のある印象になります。どちらかの色を指色に決めて分量を少なくしたり、トーンを統一することがポイントです。



■同じ色相で異なるトーンの組み合わせ

ビビットトーンの青とパールトーンの青など、同系色同士の組み合わせは、合わせやすく失敗の少ないオーソドックスなパターンです。明度・彩度の高い色をアクセントカラーにすることがポイントです。

■トーンも色相も異なる組み合わせ

ダークトーンの青にストロングトーンの赤など、色相もトーンもバラバラの組み合わせは、新鮮で個性的な印象を造りますが、センスが必要な、上級者コーディネートです。

■異なる色相で同じトーンの組み合わせ

同じトーンの組み合わせは、複数の色を使っても、イメージに統一感が出る為、まとまりやすくなります。

カラーコーディネートは、一見難しく感じますが、ポイントを押さえることで簡単に自分好みの空間へ仕上げる事が出来ます！ぜひ参考にしてみてくださいね！

リフォームコンクールで特別賞を受賞しました！

鹿児島県住宅・建築総合センター主催の「第27回リフォームコンクール」で、住まいる玄が設計・施工した「家族団欒 自然と家族が集まる住まいへ」が特別賞を受賞しました。受賞した家は、築45年の住宅で、鹿児島市の補助金を活用して耐震診断を行い、さらに国土交通省の補助金も活用してフルリフォームしました。自然素材の心地良さが感じられ、南側に面した家の中心に配置したLDKは、家族が自然と集まる空間に仕上がりました。

10月19日～21日に県民交流センターで開催された「住まいと建築展」でパネルが展示されました。

完成！ 平屋建てのゼロエネ住宅

～日置市東市来 M様邸～

日置市東市来に完成したこの家は、太陽光を設置し、ZEH基準をクリアしたゼロ・エネルギー住宅です。吹き抜けのある開放的なリビングには、掘りごたつを設け、家族が集まる落ち着いた空間に。また、洗濯機と干し場、クローゼットが一続きになっているので、「洗う→干す→たたむ」の作業が一箇所で出来るので家事効率がUPしそうです！木の落ち着いた雰囲気の中に、玄関ホールの優しいピンク色の壁やニッチ棚のタイルがアクセントとなり、モダンでおしゃれな住まいが完成しました。

↑吹き抜けが開放的な、和モダンなリビング

↑キッチン横に設けたスタディスペース。家族の気配を感じつつも集中できそう！

ウオークインクローゼット→干し場と扉ひとつで繋がっており、干した後そのまま収納でき楽ちん！

SUMIKA最新号施工事例が掲載中！

10月27日(土)に発売された19号に住まいる玄の施工事例が掲載されています。霧島市国分に完成したこの家は、自分たちらしく暮らす工夫とアイデアを持つ住まいとなりました。玄関からシューズクローゼット、ウオークインクローゼット、寝室へと続く裏動線がとっても機能的。また、玄関からリビングに至るまでにスマホなど小物を置ける棚を設け暮らしやすい工夫が随所に！スペースを最大限活用できる中2階は、趣味スペースや書斎などとして大活躍しそうな予感です。

丸みのある開口部や、タイル、アイアンを多用した高いデザイン性に加え、無垢の木や塗り壁など、自然素材の心地よさも感じられる住まいです。

五感を刺激する空間で快適生活を！ ①嗅覚編

木などの自然素材を使った空間は、五感を刺激し健康に良いと言われています。特に嗅覚は、ストレス解消に効果があることが研究で実証されており、スギから匂うほのかな香りはストレスを癒し、ヒノキの香りは安らぎを与えてくれます。また健康で過ごすために、上質な睡眠は欠かせません。ヒノキ科やスギ科の樹木の香りに含まれている「セドロール」という成分は、睡眠状態を改善する効果があると言われています。

嗅覚は、他の五感と違って大脳と直接つながっていて、大脳にある海馬(記憶をつかさどる器官)にあらゆる情報が送られます。そして、刺激を受けた大脳は活性化され、そこに関係している記憶や感情に影響します。結果として記憶力が良く感情も豊かになりやすいと言われています。

無垢の木をたくさん使った家は、香りの効果によって、リラックスやストレス解消だけではなく、記憶力の向上や認知症の予防も期待できます。

今回は、嗅覚編をお届けしましたが、木は視覚、聴覚、触覚にもそれぞれ刺激を与えてくれます！順次、ご紹介していきたいと思っています！